

授業改善推進プラン

【都教育目標】

- 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識意識のある人間
- 社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- 自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

【市教育委員会教育目標】

子どもたちが知性と感性をはぐみ、心身ともに健康で人間性豊かに成長し、互いの人格を尊重するとともに社会の一員としての自覚をもって地域にかかわる人間に育つことを目指す。だれもが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができる社会の実現を目指す。

【学校教育目標】

- ・正しく考え、進んで行動できる人。
- ・心とからだを鍛え、意志の強い人。
- ・芸術や科学を愛し、創造力の豊かな人。
- ・敬愛と協力を重んじ、責任を果たす人。

【地域・生徒の実態】

- ・各行事に積極的に取り組む生徒が多い。
- ・学習習慣の定着や、自ら考え主体的に行動する生徒の育成が期待される。
- ・学校への関心や期待が高く、大変協力的である。

【経営方針（学力向上に関すること）】

- ・一人一人が十分に学び、成長できる機会が与えられる学習環境を保証する。
- ・生徒が意欲を持ち、方法を習いつつ、真に学ぶ姿勢が身に付けられる学習指導をすすめる。
- ・生徒が自ら問題を見つめ、自らの力で解決する力を育てる。

○各教科の指導の重点

- ・基礎的・基本的な知識や技能の習得を図る指導を徹底する。
- ・読み解く力・考える力を高めるための指導を充実する。

○道徳教育の指導の重点

- ・全教育活動を通して人権尊重の精神、豊かな心、責任感の育成などを図る。

○総合的な学習の時間の指導の重点

- ・生徒自らが課題を設定し、探求活動に取り組む中で、考え方、問題解決能力、情報収集、活用能力などの生きる力を身に付けさせる。

【「確かな学力」の育成】

「確かな学力」を「生きる力」の知の側面として以下のようにとらえる。

「確かな学力」・・・

知識や技能に加え、学ぶ意欲や、自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力など

○特別活動の指導の重点

- ・ガイダンス機能の充実を図り、意欲的に自己実現できる能力と態度を育成する。

○生活指導の重点

- ・基本的生活習慣を身に付けさせ、主体的によりよい人間関係がつけられるように指導する。
- ・思いやりのある心豊かな生徒の育成といじめを許さない学校づくり。

○進路指導の重点

- ・3年間を見通した南中としての生き方指導の計画・実践。
- ・自己理解を通じた進路選択能力を育成する。

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫

- ・基礎的・基本的な内容の定着を図るため、「分かる授業」の実践に向けた指導方法を常に工夫していく。
- ・読み解く力・考える力を高める指導を段階的に行っていく。
- ・「評価」に基づき、長期休業日や放課後に補習教室を実施する。

教育課程編成上の工夫

- ・授業時間数を確保する。
- ・数学科、英語科において少人数指導を実施する。
- ・「できる学力」基礎的・基本的な内容の充実、「わかる学力」思考・判断・表現力等、個に応じた指導の充実を図る。

研究や研修の工夫

- ・教員相互の授業参観を行い、授業力向上をテーマとする研修会を実施する。
- ・小中合同研修会等を実施し、学力向上・生徒理解に向けた課題・指導法についての相互理解を深め、連携できる取組を考えていく。

評価活動の工夫

- ・評価規準・基準を見直すと同時に、年度当初に評価計画を生徒・保護者に提示、説明し、学習活動への理解を深める。
- ・生徒が学習をする上で励みや指針となるようなきめ細かい評価を行う。

家庭や小学校・地域社会との連携

- ・保護者による常時参観、授業公開、面談等を実施し、保護者、地域と一体となった健全育成を目指す。
- ・小学校との連携を深め、小中一貫となった教育活動を目指す
- ・南塾（地域ボランティアによる補習塾）との連携を深める。